



やまつばき

呉市立昭和北小学校の花「やまつばき」

令和5年10月10日

朝晩ずいぶん涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。昭和北小学校では、9月21日22日で5年生が野外活動を行いました。また、10月11日12日には、6年生の修学旅行が計画されています。11月18日(土)には、3年ぶりに学習発表会を行う予定です。学校行事をコロナ前のように実施することができるのも、地域の皆様、保護者の皆様の御協力のおかげです。引き続きよろしくお願いたします。

「自尊感情」とか「自己肯定感」という言葉を聞かれることがあるかと思ひます。「自分にはよいところがたくさんある」と思えるかどうかは、生きていく上でとても大切なことです。「自分にはよいところがあまりない」と思ってしまうと、何か新しいことに取り組もうとしても消極的になってしまったり、困難な場面につづかした時に、自分の力を発揮することができなくなったりしてしまいます。

この「自尊感情」が高い人は、自分に対して前向きな姿勢をもっています。「自分にはたくさんよいところがある」と思うことができれば、困難な場面につづかしても、自分の力で切り抜けようとしますが、そうではなく、「自分にはよいところがあまりない」と思ってしまうと、本当は自分で乗り越えられることも、自分の力を発揮することができず、落ち込んでしまいます。

では、どのようにすれば「自分にはよいところがたくさんある」と思えるようになるのでしょうか。

それは、「周りの人からの評価」です。何か頑張ったこととかよい行いをしたことなどを認められる、褒められることにより、「自分はこんなことができるんだ」と思うようになってきます。自分のことは自分自身ではなく、周囲の人がどう評価するかによって決まってくる側面があります。ですから、学校や地域、家庭でしっかりと褒められること、自信をもたせるような言葉掛けをもらえること…この一つ一つの小さな積み上げによって、子供たちは、自分に対しての自信が芽生えてくるのではないかと思ひます。そして、子供たちの「応援団」は多ければ多いほど、「自分のよいところ」をたくさん見付けることができると思ひます。

学校では、教職員や友達が、子供たちのよさをたくさん見付けていきます。地域や家庭でもまた、地域の皆様、保護者の皆様が、子供たちのよいところをたくさん見付けていただき、そして、子供たちをたくさん褒めていただけたら、きっと子供たちはますます元気になっていくと思ひます。

どうか子供たちをあたたかく見守っていただけたらと思ひます。よろしくお願いたします。



呉市立昭和北小学校
校長 香川 隆太

田んぼの見守り隊 かかしさん

5年生が「総合的な学習の時間」で取り組んでいる米作りが、大詰めを向かえています。稲がたくさん実ってきたので、鳥たちから米を守るために網をかけ、かかしさんたちも見守ってくれています。それぞれの学級がアイデアを出し、工夫して作ったかかしです。かかしさんたち、稲刈りまでよろしくね!



1組



2組



3組

人権の花贈呈式

10月2日(月)に、「人権の花贈呈式」がありました。広島法務局呉支局や呉市男女共同参画課の方、呉市人権擁護委員の方たちが来てくださって、200個以上のヒヤシンスの球根と水栽培用のセットを贈呈していただきました。

式の中で、校長先生から「人権」とは、一人一人が大切にされて、幸せに生きるための権利であるとお話があり、友達を大切にすることと、いただいたヒヤシンスの球根を大切に育ててきれいな花を咲かせましょうと呼びかけられました。人権イメージソング「世界をシェアに」を歌ったり、人権イメージキャラクターの人KENまもるくん・あゆみちゃんが登場して交流したりと、楽しい時間になりました。この式やヒヤシンスを育てることが、子供たちが「人権」ということに興味をもち、一人一人が大切にされるためにはどうすればよいか考える機会になるとよいと思います。



ひまわり学級 呉特別支援教育学校と交流会



9月12日(火)に、ひまわり学級で交流を行いました。校区に住んでいる呉特別支援学校4年生の児童とひまわり学級の児童たちが楽しく交流する会でした。

一人ずつ自己紹介をして、いっしょに歌を歌ったりゲームをしたりと、楽しい時間を過ごしていました。



2年生 楽しかったいもほり



春にいもの苗を植え、観察しながら育ててきたさつまいもを、5日(木)にみんなで収穫しました。夏に気温が高過ぎたため、葉っぱがしおれかけたことがありました。どのくらい収穫できるものか、もしかすると、ほとんど収穫できないかもしれないと、心配していましたが、1人1個と半分ずつ持ち帰ることができました。

子供たちは、楽しそうに土の中からさつまいもを掘り起こし、自分で掘ったさつまいもを友達と見せ合っていました。おうちでどんな料理に変身するのか楽しみです。



地域の方から教えていただいたうれしい話

3日(火)の朝、「自転車置き場に並べておいてある自転車に地域の方が当たってしまい、数台の自転車が倒れたときに、5年生と6年生の女子2人が駆け寄ってきて、『手伝います。』といっしょに起こしていました。優しいすてきな子供たちです。」と、その様子を見ていた方からご連絡をいただきました。

6日(金)の朝、「カラスが散らかしたごみステーションのごみを、5年生の男子が気づき、自分から進んで片付けていました。なかなかできないことですね。すばらしいです。」と、こちらも地域の方からご連絡いただきました。

学校の外でも、困っている人に声をかけて手伝ったり、誰も見ていないところで、よいと思うことを進んで行ったりできる子供が昭和北小学校で育っていることがとてもうれしかったです。こういうことをわざわざ知らせてくださる地域の方に見守られている子供たちは、本当に幸せだと思います。